

# 平成24年度 第3回松江市入札監視委員会

## 議 事 概 要

開催日及び場所	平成25年2月15日(金) 松江市役所 本館北棟3階 入札室	
委 員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委 員 有田 友子(元島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成24年8月1日～平成24年11月30日	
報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率等の状況について</li> <li>・入札方式別発注工事等の状況について</li> <li>・指名停止等の運用状況について等</li> </ul>	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	一般	1. 湖東中学校外2校空調設備更新工事 2. 平成24年度史跡松江城三之丸北東角石垣復旧工事
	指名	3. 稲積漁港船揚場修繕工事
		4. 八束亀尻地区集会所改修工事
	指 名	5. 都市公園施設長寿命化計画策定業務委託
	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、抽出を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率の高い案件。</li> <li>・入札参加者が少ない案件。</li> </ul>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

※参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	湖東中学校外2校空調設備更新工事		
工期	平成24年12月5日～平成25年3月20日		
工事種別	管工事		
工事概要	<p>既設GHPエアコンをリニューアル機により更新するもの。</p> <p>湖東中学校（第二家庭科室）</p> <p>    室外機 10HP 1台</p> <p>    室内機 天吊形 140型 2台</p> <p>第三中学校（職員室・相談室）</p> <p>    室外機 20HP 1台</p> <p>    室内機 天井カセット形 112型 2台</p> <p>    室内機 天井カセット形 90型 2台</p> <p>    室内機 天井カセット形 140型 1台</p> <p>中央小学校（音楽室）</p> <p>    室外機 10HP 1台</p> <p>    室内機 床置形 140型 2台</p>		
入札参加資格	<p>①営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>②工事实績 平成9年度以降に完成した1契約で500万円以上の建築物に付随する空気調和設備工事の施工実績があること。なお、建築一式工事で受注した工事に含まれる空気調和設備工事の実績は除く。</p> <p>③配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>経緯：平成24年11月7日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	5社		
入札参加業者数	4社	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	10,628,100円		
最低制限価格（税込）	低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を適用しない工事		
契約金額（税込）	10,500,000円（落札率：98.79%）		
入札の経緯及び結果	<p>平成24年11月28日 開札 最低価格者：石田電気水道(有)</p> <p>平成24年12月3日 事後審査の結果、石田電気水道(有)に落札決定 （詳細は「入札調書」のとおり。）</p>		

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	平成24年度史跡松江城三之丸北東角石垣復旧工事		
工期	平成24年8月17日～平成24年12月7日		
工事種別	土木一式工事		
工事概要	断続的に降り続いた雨により崩落した箇所について、復旧工事を実施するもの。 石垣復旧 A=25.5 m <sup>2</sup> 張芝 A=366 m <sup>2</sup>		
入札参加資格	<p>①資格及び格付、総合点数 平成23・24年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、土木一式工事の総合点数が851点以上であること（松江市の格付B以上に相当）。</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事実績 平成9年度以降に完成した公共工事のうち、1契約で2,500万円以上の土木一式工事の施工実績があること。</p> <p>④配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。</p> <p>⑤施工技術者 石垣工事の施工は、特記仕様書に示す施工技術者（石工）によること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成24年7月26日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。		
入札参加資格確認申請業者数	1社		
入札参加業者数	1社	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	11,634,000円		
最低制限価格（税込）	9,567,600円		
契約金額（税込）	11,340,000円（落札率：97.47%）		
入札の経緯及び結果	平成24年8月9日 開札 最低価格者：松浦造園(株) 平成24年8月10日 事後審査の結果、松浦造園(株)に落札決定 （詳細は「入札調書」のとおり。）		

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	稲積漁港船揚場修繕工事
工期	平成24年10月18日～平成25年1月9日
工事種別	土木一式工事
工事概要	<p>船揚場斜路コンクリート及び船揚場擁壁が破損しているため、修繕するもの。</p> <p>舗装工          コンクリート舗装 A=62 m<sup>2</sup>          中間止壁工 L=5m</p> <p>擁壁根継工          水中コンクリート打設 V=15 m<sup>3</sup></p> <p>構造物取壊し工          無筋コンクリート取壊し V=16 m<sup>3</sup></p> <p>雑工          亀裂箇所補修モルタル L=7m</p> <p>仮設工          鋼製山留材設置撤去 6t</p>
工事のランク	土木一式工事 B等級又はC等級又はD等級
指名業者数	10社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木一式工事登録のある市内業者のうち、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にある34社の中から、ローテーションで10社を選定した。</p>
入札参加業者数	1社
予定価格(税込)	3,243,450円
最低制限価格(税込)	2,723,805円
契約金額(税込)	3,202,500円(落札率:98.74%)
入札の経緯及び結果	<p>平成24年10月12日 開札 (有)まるとも産業に落札決定。          (詳細は入札経過表のとおり。)</p>

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	八束亀尻地区集会所改修工事
工期	平成24年11月14日～平成25年1月18日
工事種別	建築一式工事
工事概要	アンダーピニング工法によりジャッキアップし、基礎の沈下修正を行うもの。 (建物の概要) 用途：集会所 構造：木造平屋建て 延床面積：101.33㎡
工事のランク	建築一式工事 B等級又はC等級
指名業者数	15社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、建築一式工事登録のある市内業者48社のうち、15社をローテーションにより選定した。
入札参加業者数	1社(14社辞退)
予定価格(税込)	3,141,600円
最低制限価格(税込)	2,684,640円
契約金額(税込)	3,097,500円(落札率：98.60%)
入札の経緯及び結果	平成24年11月12日 開札 (株)紅花組に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札												
業務名	都市公園施設長寿命化計画策定業務委託												
委託期間	平成24年8月30日～平成25年3月5日												
業務種別	土木関係建設コンサルタント												
業務概要	<p>今後の適切な施設点検・保守体制の検討及び施設の改築・更新計画等を策定し、公園施設の安全性の確保、機能保全、ライフサイクルコストの縮減、施設耐用年数の延伸に取り組むもの。</p> <p>長寿命化計画策定業務</p> <p>長寿命化計画</p> <table border="0"> <tr> <td>街区公園</td> <td>19公園</td> </tr> <tr> <td>楽山公園</td> <td>1公園</td> </tr> <tr> <td>松江市美保関総合運動公園</td> <td>1公園</td> </tr> <tr> <td>松江総合運動公園</td> <td>1公園</td> </tr> </table> <p>予備調査</p> <table border="0"> <tr> <td>東出雲中央公園</td> <td>1公園</td> </tr> <tr> <td>松江市島根総合公園</td> <td>1公園</td> </tr> </table>	街区公園	19公園	楽山公園	1公園	松江市美保関総合運動公園	1公園	松江総合運動公園	1公園	東出雲中央公園	1公園	松江市島根総合公園	1公園
街区公園	19公園												
楽山公園	1公園												
松江市美保関総合運動公園	1公園												
松江総合運動公園	1公園												
東出雲中央公園	1公園												
松江市島根総合公園	1公園												
業務のランク	なし												
指名業者数	12社												
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、建設部門の技術士またはRCCMが在籍する17社の中から、12社をローテーションにより選定した。												
入札参加業者数	12社												
契約金額(税込)	9,870,000円												
入札の経緯及び結果	平成24年8月27日開札 (株)コスモブレインに落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)												

## 【報告事項等について】

(契約検査課長挨拶)

- ・国政では、昨年 12 月に政権交代があり、先月のところでは日本経済再生に向けた緊急経済対策について閣議決定がなされた。松江市としてもこのような状況に対応して速やかな予算執行に万全を期して参りたいと考えている。とりわけ入札から契約事務等の実施にあたっては、適切かつ迅速に執行をするために現在準備を進めているところである。
- ・本日の審議対象となっている 11 月末時点では、既に全体の約 88%の発注が終わっている。今年度も発注計画に従って、全体として早期発注及び平準化に努めることができたと思っている。入札状況については、後ほど詳しく報告させていただくが、依然として土木工事については非常に激しい競争が見られ、落札率にも表れている。本日は、落札率が高い案件、辞退者が多い案件について抽出していただいているので、後ほど忌憚の無いご意見を頂戴したい。
- ・また、去年の 10 月から測量コンサルタント業務について、全面的に電子入札を導入している。電子入札については、平成 21 年度から段階的に導入しており、来年度の 4 月からは建設工事についても全面的に電子入札で執り行うこととし、これで建設工事関係は全て電子入札に移行するという事で、引き続き公正、公平な入札制度、また入札手続きの効率化を目指していきたいと考えている。今後も公正、公平な入札制度確立のために、皆様のご意見を賜りたい。

## 1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

[建設工事]

- ・平成 24 年 4 月から 11 月までの落札率は、調査基準価格等を設定しないものを除いて 90.18%と、前年度と比較して 1.80 ポイント低下している。低下理由としては、発注件数の多い土木一式工事、建築一式工事の落札率が低下傾向にあることが考えられ、これらの業種で競争性が高まっていると思われる。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、8 月から 11 月までの入札件数は 157 件で、前年同期 163 件からは 6 件減少している。落札率については、8 月が全体平均並み、9 月から 11 月はやや高くなっている。9 月は 4 件の舗装工事、10 月は JV 発注の「宍道中学校屋内運動場建設（建築）工事」等、11 月は今回審議案件の「湖東中学校外 2 校空調設備更新工事」等の管工事や舗装工事が落札率を引き上げている。
- ・工種別の落札率について、主な工種として、土木一式工事は 1.04 ポイント、建築一式工事は 1.15 ポイント低下している。土木一式工事は、落札率が 82、83%台の工事も見受けられ、競争性が高まっているものと推測される。また、建築一式工事は、平成 23 年度の 2 件の JV 発注工事が落札率 98%台と相対的に高かったこと、逆に平成 24 年度は小中学校の耐震補強工事等が落札率を引き下げている。管工事は、下水道の接続ポンプ設置工事、消防指令センター整備工事などが落札率を引き下げている。舗装工事は、前年とほぼ同じ率で推移している。防水工事は、主に校舎の屋上防水工事で 85～87%の落札率であったため、落札率を引き下げている。
- ・価格帯別の落札率推移については、500 万円未満、500 万円以上 1000 万円未満、1000 万円以上 2000 万円未満までの価格帯で、3 年連続落札率が低下している。前年度と比較して発注額の減少等により、低価格帯でも競争性が高まっているものと推測される。2 千万円以上から 8 千万円未満までの価格帯でも落札率が低下している。主なものとしては、下水道などの土木工事、小中学校校舎の耐震補強工事などである。

[業務委託]

- ・平成 24 年 4 月から 11 月までの平均落札率は 92.42%で、前年度と比較して 1.52 ポイント上昇している。なお、先ほど申し上げたとおり、平成 24 年 10 月から全件電子入札を実施している。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、8 月から 11 月までの入札件数は 38 件で、前年同期 53 件からは 15 件減少しているが、4 月からの累計ではほぼ同数という状況である。落札率については、過去 2 カ年と比較して 4 カ月とも高くなっている。8 月は測量を含む土木設計業務や計画策定業務が落札率を引き上げている。9 月は橋梁の耐震補強調査設計業務、10 月、11 月は測量業務、道路台帳の補正業務等が落札率の高い案件である。
- ・業種別の落札率について、測量、その他は落札率が低く、これらを除く業種は高くなっている。測量は、地籍調査業務委託 6 件が前年度より低かったことから低下している。土木設計は下水道台帳図修正業務委託、測量調査設計

業務委託等で落札率が高い傾向があり、上昇している。建築設計は、耐震改修設計業務委託、耐震診断業務委託等の落札率を引き上げている。

- ・価格帯別の落札率推移について、500万円未満から3000万円未満までの価格帯で全て高くなっている。500万円未満、500万円以上1000万円未満の価格帯は、小学校校舎などの耐震改修設計業務、測量調査設計業務等の落札率が高い傾向がある。

## 2. 入札方式別発注工事等の状況について

(報告要旨)

- ・一般競争入札については、前年同期と比較し4.3ポイント低下している。指名競争入札は2.62ポイント低下している。随意契約、業務委託の指名競争入札は共に上昇している。工事の一般競争入札について、工種別平均落札率をみると、件数の多い土木一式工事において約1%低下するなど、全般的に低下傾向にある。特に土木一式工事においては、指名競争入札についても前年同期と比較して約4%低下し、他業種に比べ競争性が高まっているのが見受けられる。

質問及び意見	回答
<p>○平成23年度は全般的に落札率が高く、平成24年度になって平成22年度同様落札率が下がってきており、競争性が上がったのではないかと説明を受けたが、他に全体的な傾向として平成24年度になって落札率が下がる要因は他に考えられるか。</p> <p>○設計等の業務委託が完了し、次に工事が発注されるまでの期間はおよそどのくらいかかるか。</p> <p>○設計の受託業者は概算で工事の積算ができると思うが、設計の受託業者と工事の受注業者との間に特定の関係性を感じたことはないか。</p> <p>○ただ一般的に考えれば、設計業務の完了後、市でより詳細な設計をする中で重要な情報が流れて、それが入札行動に反映されることがあれば問題で、理屈上は可能性が無い訳ではないので、そういう可能性にも意識をして事務に当たって頂きたい。 500万円以上から2000万円未満までの価格帯で競争性が高まっており、価格が上がるにしたがって競争性が下がっているように感じるがどのように考えるか。やはり大規模工事になると工事を請け負う事業者が少ないからということか。</p> <p>○業務委託で、「その他」とはどのような業務か。</p> <p>○業務委託で、「補償」とはどのような業務か。</p>	<p>○平成24年度は押並べてみると、全般的に90%前後を推移している。平成23年度の落札率が高かった理由としては、8月に国の公契連モデル改正に合わせて、最低制限価格の算定方法を引き上げたことが考えられ、実際に8月以降落札率が高めに推移していることが確認できる。</p> <p>○規模にもよるが、学校の建設工事等の場合、大体前年度末までに設計を完了させて、次年度すぐに工事を発注するケースが多い。もし設計から期間が開いた場合には、工事発注前に単価を確認した上で発注する。</p> <p>○今まで設計の受託業者と工事の受注業者との関係性について調べたことはないが、特に関係性を感じたことはない。</p> <p>○事業者も少ないが、件数としても少ない。2000万円までの工事が件数としては全体の6割5分程度、金額でも全体の4割程度を占めており、これらの競争性が特に上がっているように感じられる。</p> <p>○例えば、防災計画やまちづくり計画の策定業務等が挙げられる。</p> <p>○工事に入る前に周囲の建物等に影響が出るかどうか、施工後影響が出たかどうか等の一連を調査する業務を総称している。</p>



【審議事項について】

1. 一般競争入札【湖東中学校外2校空調設備更新工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、機器の老朽化により、既設GHPエアコンをリニューアル機により更新するもので、現在機器の製造中という段階である。
- ・入札参加資格は、主たる営業所を松江市内に有し、平成9年度以降に完成した1契約で500万円以上の建築物に付随する空気調和設備工事の施工実績があることとしている。
- ・入札参加資格確認申請数は5社、入札参加者数は4社である。
- ・低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を適用しない工事としている。
- ・契約金額は10,500,000円、落札率は98.79%である。

質 問 及 び 意 見

回 答

○2回目の入札時には、1社しか応札が無く他社は全て辞退されているが、特に理由が考えられるか。

○理由としては、1回目の最低入札価格よりも低い応札が難しいと各社判断したからではないかと考えている。

○1回目の最低入札価格は各社に伝えられるのか。

○再入札通知をする際に、1回目の最低入札価格を通知している。

○現在機器の製造中ということだが、現場での工事自体に要する期間は短いのか。

○現場での工事にはあまり期間を要さない。室内機から室外機までの全ての配管を取り替えるのではなく、一部を取り替え効率良く作動するよう調整を行うものである。

○メーカーで機器の製造にかかる比率が高い工事ということか。

○機器の製造工程に時間を要する。まず発注者から機器の承認を受けてから、メーカーにオーダーして作り始めるという工程なので機器に対する納期がかかる。

○今まで機器の比率が高い工事の場合は、落札率が低い傾向があると記憶しているが、本工事は落札率が高くなっているが、何か要因が考えられるか。

○設計する時の価格の決め方において、メーカーと交渉をして可能な限り適正な価格を設定するようにしている。

○機器のメーカーはいくつかの中から選べるのか。

○評価名簿では7社ある。

○メーカー側の競争が無かったということは考えられるか。

○メーカー側の競争性までは把握できない。

○本案件は適切に手続きが行われているということであるか。

(全委員、了承。)

2. 一般競争入札【平成24年度史跡松江城三之丸北東角石垣復旧工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、断続的に降り続いた雨により崩落した箇所について、石垣の復旧工事を実施するものである。
- ・入札参加資格は、平成23・24年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、土木一式工事の総合点数が851点以上、松江市の格付B以上に相当し、建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有し、平成9年度以降に完成した公共工事のうち、1契約で2,500万円以上の土木一式工事の施工実績があることとしている。
- ・配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、石垣工事の施工は特記仕様書に示す施工技術者(石工)によることを条件としている。

- ・入札参加資格確認申請数は1社、入札参加者数も1社である。
- ・契約金額は11,340,000円、落札率は97.47%である。
- ・松江城石垣復旧工事の過去の入札経緯をみると、平成18年度以前は大手業者を対象として指名競争入札で行っており、平均の落札率は97.48%だった。平成19年度には大手業者が指名停止を受けたこともあったが、地元業者が下請業者としてある程度実績を積んだと判断し、市内業者という条件で、一般競争入札へと移行している。平成19年度以降の平均落札率は95.81%である。松江城の石垣復旧工事は、国指定史跡であり、設計監理を文化財保存計画協会へ別途委託して行い、その専門的指示に適切に対応する施工が求められる。制約が多い上に、記録保存や石垣の積み直しなど手間がかかり、経験も必要ということで入札参加者が少なかったのではないかと推察している。

質問及び意見	回答
<p>○平成19年度以降は、案件ごとに落札率にばらつきがあるが、何か理由が考えられるか。</p> <p>○平成18年度以前に下請業者として受注していたのは、落札業者以外にないか。</p> <p>○この石工には何か特別な資格が必要なのか。</p> <p>○入札公告での石工の定義は、文化財石垣の施工経験があるということを示されているのか。</p> <p>○平成20年度までは格付C等級以上までが参加可能で、平成21年度に格付B等級以上までとしてから入札参加者数が1社となっているが、格付の条件を変えたことと入札参加者数の減少との関係性はあるか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということであるらしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○基本的には仮設の違いだと考えられる。石垣の前はほとんどが堀ということで、高い石垣を前面から工事するには、足場等を作る必要があり、これらの積算の考え方の違いから生じた差ではないかと考えられる。また、機械の配置の仕方等の違いが積算の差に表れたものではないかと考えられる。</p> <p>○主として受注していたのは、同事業者である。施工技術者として文化財石垣の施工経験のある石工は県内に3名しかおらず、松江市には同事業者に1名しかいない。この状況からすれば、随意契約という方法もあるかもしれないが、石工を確保すれば他の業者も参加できるという前提で、一般競争入札で行っているというのが実態である。</p> <p>○資格としては特別ではないが、文化財石垣の施工経験が必要ということである。同事業者の石工は、他県での工事にも声が掛かるようで、それだけ経験のある石工だと聞いている。</p> <p>○はい。ただ、石工には直接の雇用関係までは求めず、施工の際はこのような経験のある石工を使うように示している。</p> <p>○もともと平成20年度以前も格付A等級とB等級の事業者しか参加していなかった。以前は大手業者が受注していた工事で、特に監理を要するものである。工事の性質上、監理がより適正にできる事業者にとということで、格付の条件を変えた経緯がある。</p>

### 3. 指名競争入札【稲積漁港船揚場修繕工事】

<p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、船揚場の斜路コンクリート及び擁壁が破損しているため、修繕するものである。</li> <li>・土木一式工事登録のある市内業者のうち、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にある 34 社の中から、ローテーションで 10 社を選定した。参加業者は 1 社だった。</li> <li>・契約金額は 3, 202, 500 円、落札率は 98. 74% である。</li> <li>・従来破損した構造物は撤去して新たに擁壁を作ることが多いが、この工事はコスト縮減を図り、傾いた擁壁を起こして再利用している。擁壁を起こすための仮設工や、海岸工事で波除けのための仮設工も必要で、これら仮設工に費用がかかることから敬遠されたのではないかと考えている。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○辞退が多いのは、工事が特殊で手間がかかると各社考えたからか。</p> <p>○今後もこのように再利用するような方法がとられるのか。</p> <p>○落札者が最も現場に近いというような関係性はあるか。</p> <p>○選定した考え方としては主たる営業所が橋北地区にあるとなっているが、より地域性を考慮した選定になっているということか。</p> <p>○辞退者が多い案件を見ていると、事業者が嫌がる案件というのがある程度パターン化してきているように思われる。もしそうであるならば、競争性を高めるために、市としてこのような案件をいつどのように発注をしていくかの工夫が必要なのかもしれない。本案件は適切に手続きが行われているということであるか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○実際のところは聴取していないのでわからないが、このように擁壁を起こして水中コンクリートで根固めする方法は仮設が難しく、利益も上がらないので、参加意欲が沸かなかったのではないかとと思われる。</p> <p>○現場の状況によると思われる。ここは擁壁を起こしてまだ使えるという判断ができたからこの方法にしている。</p> <p>○現場の周辺の事業者を優先して選定している。ちなみに、落札業者は現場に最も近い事業者ではない。</p> <p>○はい。ローテーションで指名回数が均等になるよう全体としては調整しているが、選定には無作為抽出ではなく地域性を考慮したローテーションとしている。</p>
<p>4. 指名競争入札【八束亀尻地区集会所改修工事】</p>	
<p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、建物基礎の沈下修正を行うものである。アンダーピニング工法により一部の基礎をジャッキアップして修正し、建具等の調整を行うものである。</li> <li>・工事のランクは、建築一式工事で格付B等級及びC等級から選定する工事である。</li> <li>・建築一式工事登録のある市内業者 48 社のうち、15 社をローテーションで選定した。入札参加業者数は 1 社だった。</li> <li>・契約金額は 3, 097, 500 円、落札率は 98. 60% である。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○辞退が多いが、これも工法的に難しい等の要因が考えられるか。</p>	<p>○最近ではあまりこのような工事はない。普段B等級やC等級に発注する場合は、木造建築物の新築物件や窓の取替え等が多い。泥の中の仕事で、結果としては高い精度が求められるということで、金額の割に工事としての魅力が無かったのではないかと推測している。</p>

<p>○落札率が高いことについては、作業にかかる場所が多く、積算すると設計額に近くなるということでしょうか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○適正に設計しているので、落札率が特に下がることは考えにくい。</p>
--	--

5. 指名競争入札【都市公園施設長寿命化計画策定業務委託】

(説明のポイント)

- ・ 松江市が管理する140公園を対象として、平成21年度から都市公園施設の長寿命化対策等を踏まえた長期的な施設の保全計画の策定に取り組んでいる。この業務は、公園施設の安全性の確保、機能保全、ライフサイクルコストの縮減、施設耐用年数の延伸に取り組むため、今後の適切な施設点検・保守体制の検討及び施設の改築・更新計画等を策定する業務委託を行うものである。本案件は、長寿命化計画22公園、予備調査2公園を対象としたものである。
- ・ 指名選定の考え方は、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、建設部門の技術士またはRC CMが在籍することを条件に、これらを満たす17社からローテーションにより12社を選定した。入札参加業者は12社全者である。
- ・ 契約金額は9,870,000円である。
- ・ 公園緑地の設計業務については、歩掛が島根県の積算基準にないため、適宜見積りを徴して発注することになる。事前に見積業者を審査会により選定している。業務委託は、入札時に内訳書の提出を求めているため、各社どのような歩掛、単価で見積額を算出したか把握できないところである。
- ・ 落札率が高かった理由としては、業務場所が市内各所に点在している関係上効率的ではないということと、業務の対象が植樹を除く全ての施設、設備となっており、多種多様に渡るため、時間と人件費がかかる業務内容であることが考えられる。

質問及び意見	回答
<p>○この業務は、簡単に言うと今後各公園を長持ちさせるための調査、計画策定ということでしょうか。</p>	<p>○はい。平成21年度から始めており、来年度で終了する予定である。</p>
<p>○長寿命化計画と予備調査との業務内容の違いは、</p>	<p>○予備調査に基づき長寿命化計画を策定することになる。</p>
<p>○今回長寿命化計画策定対象の公園は、前年度までに予備調査が行われたものということか。</p>	<p>○はい。</p>
<p>○業務を行うには24箇所現地を確認しなければならないので、手間がかかるということか。</p>	<p>○はい。</p>
<p>○まだ業務が完了していないが、調査以前の段階で廃止等の方針は出ているのか。基本的には計画を策定するのは、長寿命化をするという方針が出たものということか。</p>	<p>○はい。予備調査で機器の更新時期等を判断し、全体で140箇所あるので、計画の中で修繕の順番等を決めていくようになる。</p>
<p>○入札金額があまりばらつきなく、ある程度の範囲に収まっているように思うが。</p>	<p>○あくまでも推測になるけれども、見積案件ではあるが、平成21年度から行っているという中で、対象公園の規模と箇所数から逆算して、おおよその金額を各事業者が把握しているのではないかと考える。</p>

<p>○対象は都市計画公園のみか。</p> <p>○本案件は適切に手続きを行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○はい。</p>
<b>【報告事項】</b>	
1. 指名停止等の運用状況について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事としては、この間3件3者について指名停止措置を行っている。それぞれ市外で発生した建設業法違反行為、贈賄、不正又は不誠実な行為によるもので、島根県が行った停止措置に準じ同じ期間の指名停止措置を行っている。</li> </ul>	
<b>【その他】</b>	
<p>[次回開催予定について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽出対象期間は平成24年12月1日から平成25年3月31日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、後藤委員とする。</li> <li>・平成25年7月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	